

# 令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2	学年	2年	類型	共通選択生
教科書	高校生の美術2(日本文教出版)			副教材	なし				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点				学習のねらい・学習の目標・評価の観点		
				①	②	③	④			
1 学期	4							<p>学習のねらい</p> <p>1学期は現代絵画表現について学び、2次元の世界に3次元のものを立体的に表現できるように学びます。また、身近な面白い形を探し、立体的な感性を養います。</p> <p>2学期は1学期の発展で現代絵画表現を追求し、絵画的な表現力を養い、その美しさや面白さにふれ、制作します。また、鑑賞では世界の現代アート作品の鑑賞を行い、芸術作品への理解を深めます。</p> <p>3学期はデザインについて学びます。目的に応じたデザインなど、人が使う、人に伝えるといったことを考え、制作します。</p> <p>学習の目標</p> <p>美術の創造的な諸活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化について理解を深める。</p>		
		5	絵画/表現 人物のイメージや心情を表す	私と物の組み合わせ	空想を描く ①石田徹也の作品を見る	◎			○	
					②アイデアスケッチ	○	◎			
				③下書き		◎	○			
	6			③着色		○	◎			
		絵画/鑑賞 人物のイメージや心情を表す	鑑賞	作品の相互鑑賞	○				◎	
		立体/表現 身近な素材で表す	身近なものを使った表現	面白い形を探す ①アイデア出し	○	◎				
7										
			②収集したものの組み合わせ		◎	○				
			③仕上げ	◎		○				
2 学期	8									
		9	絵画/表現 構想を練って描く	私だけの世界を描く	イメージを描く ①アイデア出し	◎		○		
					②アイデアスケッチ		○	◎		
	10			③下書き		◎	○			
				④着色	○		◎			
				⑤着色	○		◎			
				⑥仕上げ		◎	○			
11	絵画/鑑賞 構想を練って描く	鑑賞	作品の相互鑑賞	○			◎			
12	彫刻/鑑賞 現代アート	現代アートとは	伊藤博敏、渡辺忍、イサム・ノグチ	○			◎			
	絵画/鑑賞 現代アート	現代アートとは	ジャクソン・ポロック、マーク・ロスコ、奈良美智	○			◎			
3 学期	1							<p>①関心・意欲・態度</p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、様々な表現方法や作品に興味を持ち、主体的に授業に取り組んでいるか。</p> <p>②発想や構想の能力</p> <p>自分の感性を大切に、感じ取った事や考えた事を整理し、構成することができるか。</p> <p>③創造的な技能</p> <p>自らの個性を表現するために表現技法を学び、選択して表現できているか。</p> <p>④鑑賞の能力</p> <p>様々な作品を鑑賞し、その中から表現技法を学び取り、自らの作品に生かすことができるか。</p> <p>備考</p>		
		デザイン/鑑賞 使う人のためのデザイン	身近にあるデザイン	使いやすさと美しさ	○				◎	
	2			デザイナーの発想から学ぼう	◎	○				
		デザイン/表現 感覚に訴えるデザイン	アプリアイコンのデザイン	アイコン制作 ①アイデア出し		◎	○			
				②アイデアスケッチ			◎		○	
			③下書き	○		◎				
		④着色			○	◎				
3			⑤仕上げ	○			◎			
	デザイン/鑑賞 感覚に訴えるデザイン	鑑賞	作品の相互鑑賞	○			◎			

※評価の観点 ①:関心・意欲・態度 ②:発想や構想の能力 ③:創造的な技能 ④:鑑賞の能力

◆学習方法のポイント

【美術Ⅱ】

【個性を生かして創造的な表現を追求しましょう。】

- まずは苦手意識を捨てて、自由に制作しましょう。
- 追究する精神を忘れずに制作しましょう。こだわった作品ほど奥深いものがあります。
- 作品をよりよく表現できる手段を教師から学び、時間いっぱい制作しましょう。
- 様々な作品に触れ、感性を磨きましょう。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 絵画、デザイン、立体、鑑賞など幅広い分野を学びます。
- 授業プリント、板書の記録や感想、作品をスケッチボックスに挟みます。学期末には 提出し、ノート点として採点します。
- 鑑賞の時間には積極的に発表し、意見を交換し合います。

【家庭学習】

- 積極的に美術館や博物館に足を運び、作品を鑑賞して感性を磨きましょう。
- 授業中に仕上げるができなかった作品に関しては、家庭での宿題になります。
- 作品に使えるような資料や材料を集めて保存しておきましょう。

【定期考査】

- 定期考査は実施しません。

◆評価の方法、基準

評価の方法	課題作品、授業への出席及び、学習意欲、プリントの整理状況を①関心・意欲・態度②発想や構想の能力③創造的な技能④鑑賞の能力の4つの観点から評価します。ただし、課題作品を重視します。	
評価の基準	1 学 期	課題作品(全ての観点から評価します) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します) プリントの整理状況(主に①の観点から評価します) 課題提出状況(主に①の観点から評価します)
	2 学 期	課題作品(全ての観点から評価します) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します) プリントの整理状況(主に①の観点から評価します) 課題提出状況(主に①の観点から評価します)
	3 学 期	課題作品(全ての観点から評価します) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します) プリントの整理状況(主に①の観点から評価します) 課題提出状況(主に①の観点から評価します)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均